

令和5年度 第1回

医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者フォローアップ交流会 報告

日時：令和5年11月7日（火）13：30～15：45

場所：乙訓福祉施設事務組合

主催：「医療的ケア」委員会

参加者：コーディネーター13名 乙訓保健所2名 事務局1名

京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」（京都府障害者支援課）1名

事例提供者2名 計19名

内容

1. 開会 挨拶 NPO 法人てくてく 尾瀬 順次 委員

趣旨

- ・圏域の医療的ケア児等コーディネーターの顔の見える関係づくりを構築する。
- ・京都府医療的ケア児等支援センター、保健所、市町、コーディネーターの役割について理解を深める。
- ・地域資源の課題について整理し、共有する。

以上のことを、成人期の事例を通して協議する中で明らかにしていく。

2. 参加者の自己紹介

3. 京都府医療的ケア児等支援センターより 石川 恵美子 氏

(1) 京都府医療的ケア児者及び重症心身障害児者基本情報調査の実施について

(2) 「ことのわ」への相談状況について

(相談実人数) 令和5年4月～10月：73名(乳幼児36名、小中学生18名)

相談内容として社会資源に関することで40名から相談があった。

(3) 「ことのわ」が開設して1年半・・・大切にしていきたいこと

医療的ケアが必要なこのその子らしい「あたりまえ」の暮らしを支え続けるために。

(4) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者の状況について

研修修了者は京都府で300名を超えたがコーディネーターと名乗っているのは10名未満。

4. グループディスカッション

事例提供者：相談支援事業所

○事例の共有・質問（20分）

○個人ワーク（5分）

○グループワーク (40分)

○各グループからの発表 (10分)

- ・急に医療的ケアが必要になるとそこから協議が始まるので、事前に想定して普段から話し合うことで対応できることもある。また、リスクを回避するプランや圏域の必要な情報を把握し共有しておくことも準備できることである。
- ・災害時の避難所に関する情報や個別避難計画についても話題にあがった。
- ・医療機関での生活も地域生活と言えるような社会であってほしい。
- ・最近、福祉だけでは対応できず医療が必要となり、医療と福祉が一体となっている事業所も増えてきている。

○事例提供者からのコメント (5分)

5. まとめ 京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」 石川 恵美子 氏
コーディネーターとは調整者でありスーパーバイズする人ではないが、実際は「調整機能」と「スーパーバイズ機能」の2つが必要だと考えられる。

アンケートまとめ

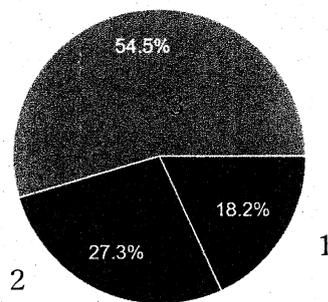
Q1 京都府医療的ケア児等支援センターの講演を聞き、どのように思われましたか。
ご自由にお書きください。

- ・今日はありがとうございました。公表を楽しみにお待ちしております。
- ・医療的ケア児等の基本調査の結果からの課題を把握して今後の支援に生かしたい。
- ・京都府の実態を大規模に調査され、全貌を知りたいと思った。
- ・実態調査等から見えた課題等の解決に向けた取り組みを考えていければと思います。
- ・アンケートの情報大変参考になりました。
- ・実践内容を伺って良かった。
- ・いつも参考になり、ありがとうございました。
- ・アンケートで、府下の課題がわかった。
- ・ことのわを活用することで、医ケアを必要とする方の生活がより充実したものになっていくことを期待しています。
- ・「ことのわ」が浸透してきている。
- ・傾向を知ることは大切。是非生かして、事業所を増やして欲しい。型にはめていたら、変わらないのでは、民間のアイデアも取り入れて欲しい。
- ・調査について教えていただき、興味深かったです。課題や特徴の詳細を知りたいと思いました。
- ・現状の把握から改善できる所を教えて欲しい。

Q2 グループでの交流会はいかがでしたか。ご自由にお書きください。

- ・事例について追加の質問にも丁寧に対応いただき、さらによく理解出来ました。それぞれの豊かな経験からのご意見はどれもとても学びになりました。
- ・活気ある話し合いができてよかった。地域のコーディネーターさんと関わる機会ができてよかった。
- ・難しい事例だったが、いろいろな意見を聞き、勉強になった。
- ・色々な意見を聞いて視野を広げることができたと思います。
- ・皆さん日々支援されている方ばかりだったので、とても参考になりました。
- ・ケースを深めるというより、ケースを交えて情報共有ができてよかった。
- ・立場立場で適切なご意見が参考になった。
- ・圏域内の課題がわかりよかった。相談員や支援者の日々の対応が聞いて参考になりました。
- ・介護保険に移行する方のケースは、持ったことがないので、高齢の方への支援について考える機会をいただけてよかった。
- ・色々な方の話が聞いてよかった。地域の連携が必要と考えた。
- ・色々な方向から考えることが自分ではできていないと思った。毎回参考になります。
- ・自分とは違う立場の方々のお話を聞いて、医療的ケアや地域で暮らすことについて改めて考えました。
- ・福祉ホームとの関りがなく又他の方の意見を聞いて知ることが沢山あった。
- ・もう少し時間をとってゆっくり話がしたい。

Q3 来年度もフォローアップ交流会を企画したいと思いますが、企画を考えるコアメンバーとしての参加希望をお聞かせください。



- 1 ● コアメンバーの活動のを知りたい。
- 2 ● コアメンバーとして参加してもよい。
- 3 ● コアメンバーとしての参加は希望しない。

Q4 最後に何かありましたらご自由にお書きください。

- ・どうしても前向きなディスカッションができず、すみません。日々の生活の中で困っていることたくさんあって、お知恵をいただきたいです。
- ・コーディネーターの役割はスーパーバイズできる必要なサービスをつなぐ役割。
- ・私はもっと医ケアの方に関わりたいと思っています。行政（市）もコーディネーターが誰なのかも把握し、ケースをつなげて欲しい。
- ・事前に読んだ印象と実際にいてみるのは、違うなあと思いました。
- ・地域内の課題について、行政にもっと訴えて何か変えていけないかと思いました。